

愛知県の養豚農家で 豚コレラ(国内19例目)の疑似患畜 が確認されました

<発生施設の概要>

所在地: 愛知県瀬戸市 飼育頭数: 4, 562頭

<経緯>

愛知県は、4月9日(火)に養豚農場から飼養豚が異常を呈しているとの通報を受け、立入検査及び精密検査を実施したところ、本日(4/10(水))、豚コレラの疑似患畜であることを確認しました。

生産者、畜産関係者の皆様には、以下の
対策の徹底を改めてお願いします。

- 1) 消毒による人・車両等を介したウイルスの侵入防止対策
- 2) 飼養衛生管理区域専用の服及び長靴の着用
- 3) 野生動物との接触防止等、飼養衛生管理基準の遵守
- 4) 飼養豚の毎日の健康観察による早期発見・早期通報

異常を見つけた場合には直ちに山梨県東部家畜保健衛生所まで

電話: 055-262-3166 FAX: 055-262-3108

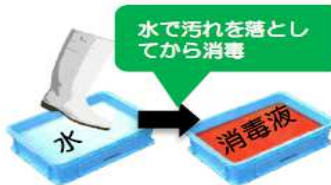
夜間・土日・休日の連絡先: 090-5535-8005

土日・休日の連絡先: 090-5544-7868

衛生管理を徹底しましょう!



関係者以外の農場
への立入を禁止



農場に出入りする際には、
消毒を実施



飼料に生肉を含む又は含む
可能性がある場合は、
十分に加熱処理

異状を発見したら直ちに通報しましょう!

豚コレラ

2018年9月
日本で発生

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です!

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等



うずくまり



豚房の隅に集まるパイルアップ



目やに

写真出典: 国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑(耳翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

【豚コレラの特定疾患】

○耳翼、下腹部、四肢等に紫斑がある。

○同一の畜舎内において、次のいずれかの症状を示す豚等が増加する。

- ・ 摂氏40度以上の発熱、元気消失、食欲減退
- ・ 便秘、下痢
- ・ 結膜炎(目やに)
- ・ 歩行困難、後躯麻痺、けいれん
- ・ 削瘦、被毛粗剛、発育不良(ひね豚)
- ・ 流死産等の異常産の発生
- ・ 血液凝固不全に起因した皮下出血、皮膚紅斑
天然孔からの出血、血便

豚に異状が確認された場合には、速やかに家畜保健衛生所に通報をお願いいたします。